



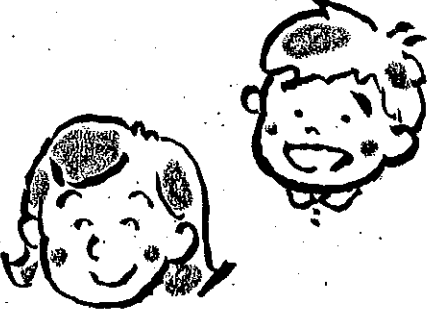
こどもの



^{けん}
^ん
権利ノート



なまえ()



神戸少年の町

はじめに

少年しょうねんの町まちにようこそ。あなたは今日きょうからわたしたち
といっしょに生活せいかつする仲間なかまです。

このノートでは、少年しょうねんの町まちで生活せいかつするうえでとても
大切な「こどもの権利けんり」のことが書いてあります。子ども
はみんな一人ひとりの人間にんげんとして、認めみとられ、そして幸しあわせに
なる権利けんりをもっています。そして少年しょうねんの町まちは子ども
一人ひとりひとりを大切たいせつにしたいと思っています。でも、権利けんり
といっても、自分じぶんだけのものではありません。あなたの
友達ともだちも、あなたおなと同じようもに持っています。だからおた
がいおちに思いやり、みんなたすで助け合あいながら楽たのしく生活せいかつ
していけるようにしましょう。少年しょうねんの町まちのお兄にいさんとお
姉ねえさんも、あなたたいせつを大切みとにし、認めそんちよう、尊重まもし、守まもります。



しょうねん まち せいかつ
「少年の町でどんな生活をするの？」

しょうねん まち とも あそ べんきょう
少年の町で、きみは友だちと遊んだり、勉強をした
りして、あんしん せいかつ
安心して生活できます。少年の町のお兄さんや
お姉さんはあなたを大切にしたいと考えています。した
いこと、してほしいこと、いやなことがあれば、えんり
よしなで、しょうねん まち にい ねえ
少年の町のお兄さんやお姉さんに相談して
ください。

なんでも きいてね!



「さべつされません」

さべつとは、自分とちがうとじぶん感じる人ひとを仲間なかまはずれにしたり、いじわるしたり、からかったりすることです。

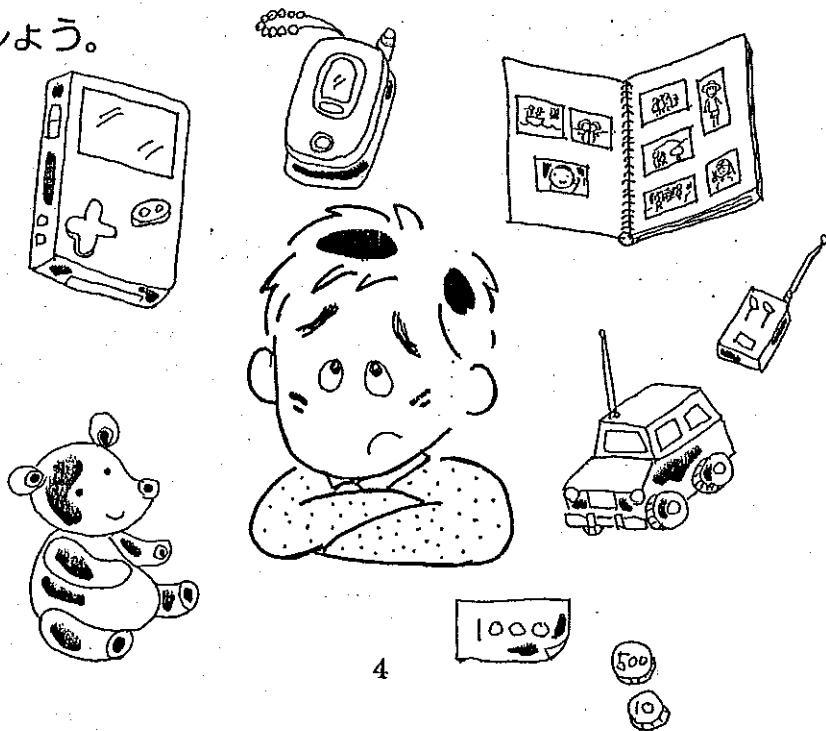
少年の町では、国籍こくせきがちがうとか、男おとこか女おんなか、親おやがいるかないか、お金かねもちかびんぼうか、しょうがいがあるかないか、勉強べんきょうができるかできないか、その他ほかのどんな理由りゆうでもさべつされることはありません。だから、みんなも人ひとをさべつしないようにしましょうね。



じぶん も しせつ も
「自分の持ちものは施設に持っていけるの？」

きみがいままで大切にしていたものを持ってこ
とができます。何を^{なに}持ってきてもよいかは、少年^{しょうねん}の町^{まち}
お兄^{にい}さんやお姉^{ねえ}さんに相談^{そうだん}してください。特別^{とくべつ}なもの
(大き^{おお}なもの、値段^{ねだん}の高^{たか}いもの、きけんなもの^{など}等)以外^{いがい}は
大丈夫^{だいじょうぶ}です。ただし、なかには、持^もってこることができ
ないものもあります。

あなたに大切^{たいせつ}なものがあるように、他^{ほか}の人^{ひと}にも大切^{たいせつ}
ものがあります。みんなでルール^{まも}を守^{たの}って楽しく暮^くらし
ましょう。



わたし
「私たちがまもらなければならないこともあるの？」

しょうねん まち く こ しあわ
少年の町で暮らす子どもたちみんなが幸せになる
には、自分のことだけでなく、ほかの子どものことも
たいせつ
大切にしなければいけません。みんなで仲よくくらすた
め、お友だちにいじわるや暴力をふるわない、施設の
ものを大切にしようといった「やくそく」があるから、
きちんとまもるようにしようね。

しょうねん まち
少年の町は6つのグループホームにわかれています。
それぞれの部屋でやくそくがありますので、担当にたず
ねてください。

まもろうね！！



じぶん いけん い
「自分の意見はどんどん言おう」

きみが、^{しょうねん}少年の^{まち}町での^{せいかつ}生活について^{きぼう}希望があったり、
思っていることがあれば、^{にい}お兄さんや^{ねえ}お姉さんに^{はな}話したり、
みんなで^{あつ}集まったときに^{はな}話しあいましょう。^{がっこう}学校の
こと、^た食べ物^{もの}のこと、^{おこづかい}おこづかいや^{ふく}服のことなど、なん
でも^{はな}話し^あ合っていきましょう。



「おこずかいはもらえるの？」

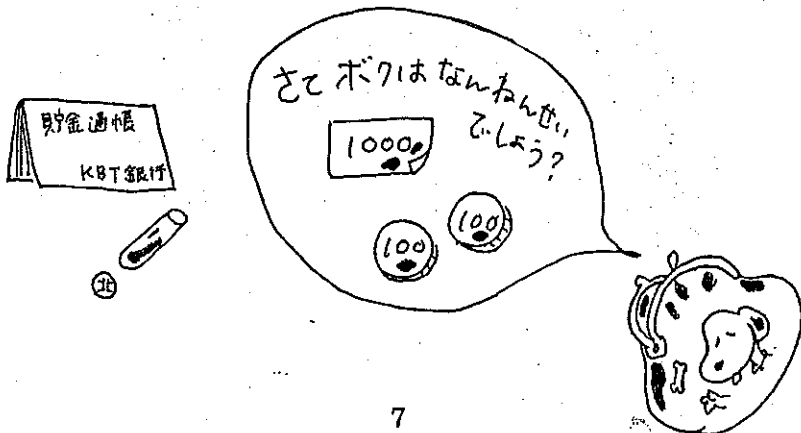
少年の町では、みんながおかしを食べたり、好きな本
 やおもちゃを買えるようにおこずかいをだしています。
 でも、これは将来の生活のきそとなるお金のつかいかた
 を勉強するためもあります。だから使いかたはお兄さん
 やお姉さんと相談しましょう。

ひと月にももらえるおこずかい

幼児	500円	中1	2100円
小1	600円	中2	2200円
小2	700円	中3	2300円
小3	800円	高	2000円
小4	1000円		
小5	1100円		
小6	1200円		

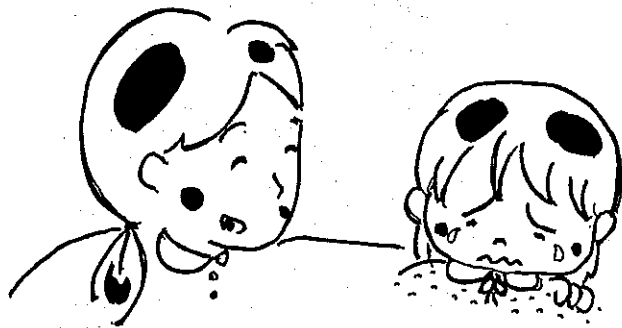
H21~
 高1 1000
 2 9500
 3 10000

(2009年4月現在)



「こまったことや、なやみがあればだれに^{はな}話せばいい
の？また、^し知りたいことがあればだれに^き聞けばいい
の？」

みんないろいろなことを^{かん}感じたり、^{かんが}考えたりしながら
^{せいかつ}生活しているよ。こまったことや、なやみがあればど
んなことでもお兄さんやお姉さんに^{はな}話してください。ま
た、^し知りたいことがあったときもそうだよ。^{はな}話しても
^{ひみつ}秘密は^{まも}守るし、^{だいじょうぶ}大丈夫です。

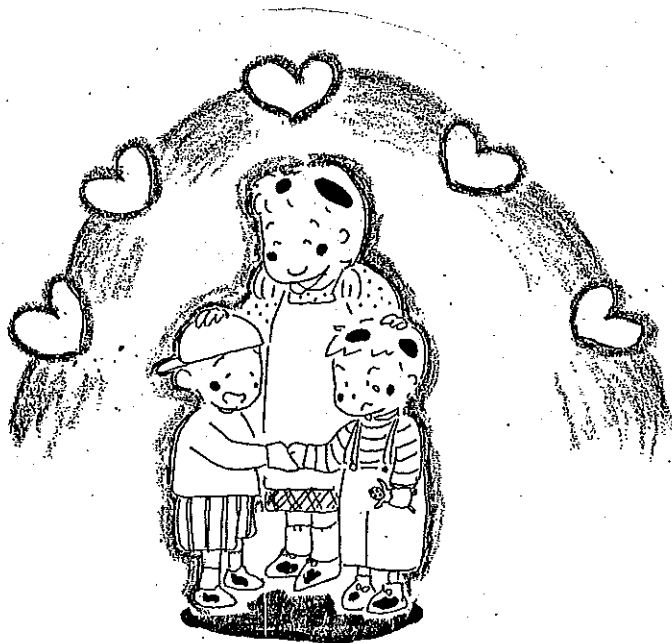


「たたかれたり、いじめられたりすることはないの？」

どんなことがあっても、大人や友だちからこわいめに
あわされたり、いじめられることがあってはなりません。

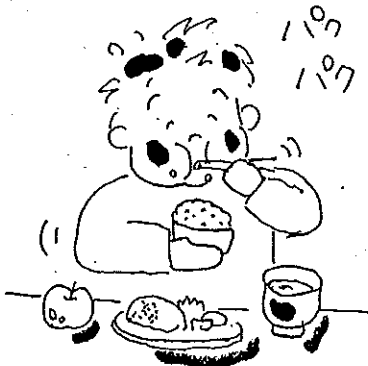
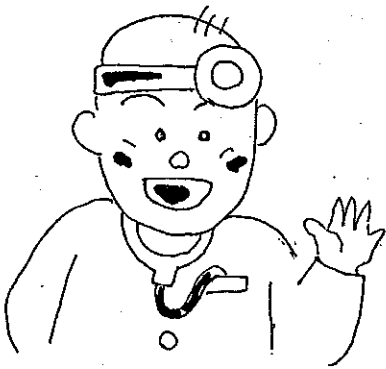
少年の町のお兄さんとお姉さんはきみを守りたいと思
っているの、いやなことがあればすぐに相談してくだ
さい。もしいじめられている人がいたり、自分がいじめ
られたりしてもだまがまんしないこと。「やめて」

「たすけて」と声をだす勇気をもとう。



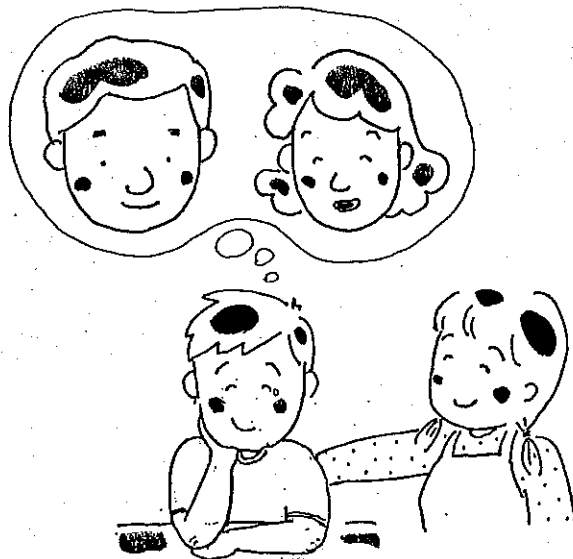
「けがや病びょうき気でしんどいときはどうなるの？」

きみがけがをしたり、病びょうき気になれば病びょういん院でみてもら
えます。身体からだのどこかが痛いたかったり、しんどいときは、
お兄にいさんやお姉ねえさんに言いってください。それに、いつも
元げんき気でいられるように、早はや寝・早はや起おきをし、運うんどう動したり、
栄えい養ようのあるものを食たべて、きみ自じ身しんも健けん康こうに心こころがけまし
よう。



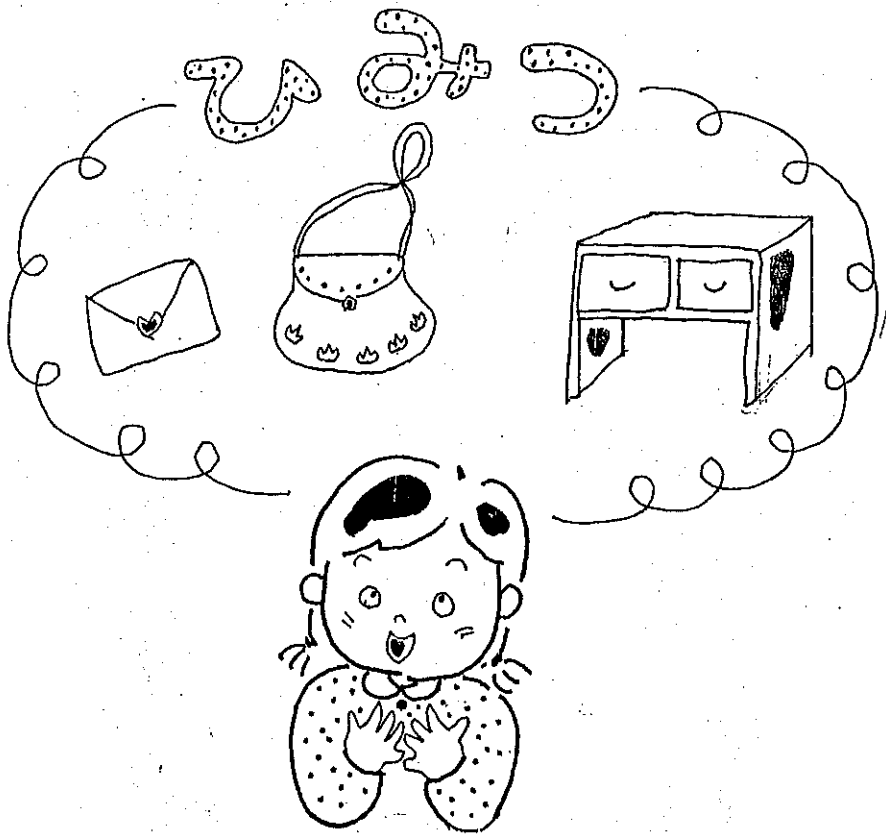
とう かあ かぞく あ
「お父さん、お母さんや家族と会うことはできるの？」

とう かあ あ
もちろん、お父さんやお母さんに会うことはできるし、
れんらく
連絡することもできます。ときには、かえることもできま
しょうねん まち にい ねえ とう
す。少年の町のお兄さんやお姉さんはみんなのお父さん
かあ せきにん けんり いけん かんが たいせつ
やお母さんの責任・権利・意見・考えも大切にします。
せいかつ べんきょう しんろ そうだん き
生活や勉強、そして進路のこと、みんなで相談して決め
ます。みんなもしっかりと考えましょう。また疑問があ
れば、お兄さんやお姉さんに聞いてください。こども
かてい たんとう せんせい ちから
家庭センターの担当の先生も力になってくれます。



てがみ たいせつ ひみつ
「手紙や大切にしているもの、秘密にしておきたいこと
まも
を守ってもらえるの？」

たいせつ つくえ ひ た てがみ
きみが大切にしているカバン、机の引き出し、手紙な
かって
んかを勝手にのぞいたり、さわったりされることはありません。
とも かって
みんなも友だちのものを勝手にのぞいたり、さ
わったりしないようにしましょう。また、お兄さんやお
にい
ねえ はな ないよう ひみつ
姉さんは話してほしくない内容を秘密にします。



「どのような神様や仏様を信じてもいいの？」

少年の町は戦争のあとにアメリカから来たフラナガ

ン神父とカトリック大阪アクション会の佐々木神父に

よって、カトリックの教えをもとにつくられました。で

も、きみは、宗教について、どのような神様や仏様を

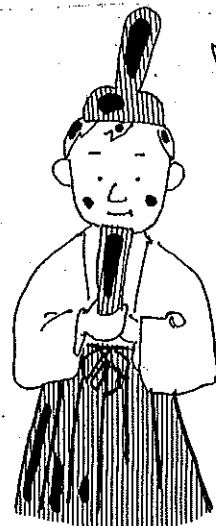
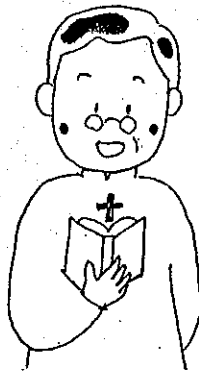
信じてもいいです。これは少年の町がだれも差別しな

いで、受け入れるということを大事にしてきたからです。

カトリックのミサを年に3回実施、子どもに出席を

促しています。3回のミサは復活祭、創設者の追悼ミ

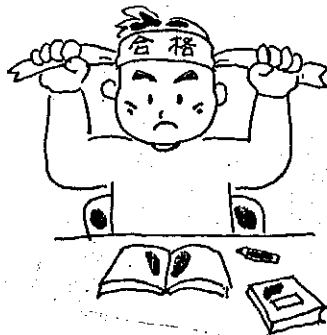
サ、クリスマスのミサです。



ちゅうがっこう こうこう そつぎょう
「中学校や高校を卒業してからはどうなるの？」

きみが学校へすすむか、仕事をするか、自分で考え
てきめることができます。まわりの人とよく話しあってき
めましょう。自分に合った高校などに進学することもで
きます。まずは、少年の町にいる間に、好きなことを
み
見つけよう。

また、少年の町からでて、一人で生活するときも、
自分の力で生活できるように、お兄さんやお姉さんそ
してこども家庭センターの先生がサポートします。



しょうねん まち
「少年の町をでてこまったときにはたすけてくれる
の？」

かてい しょうねん まち
きみが、家庭にもどるときや少年の町からでるとき
じぶん いけん かんが い しょうねん
には、自分の意見や考えを言うことができます。少年の
まち にい ねえ かてい
町のお兄さんやお姉さん、そしてこども家庭センターの
せんせい かんが しょうねん
先生といっしょによく考えましょう。もちろん、少年の
まち そうだん
町からでて、こまったことがあれば相談にのります。



しぜん
「自然のなかでゆっくりあそべます」

しょうねん まち まわ しぜん しばふひろば うえ
少年の町の周りには自然がいっぱい、芝生広場の上で

おも
思いきりあそびましょう。また、学校の友だちともあそ

べます。でも、暗くらくなったら危あぶないから、自分じぶんの身みを守るまもる

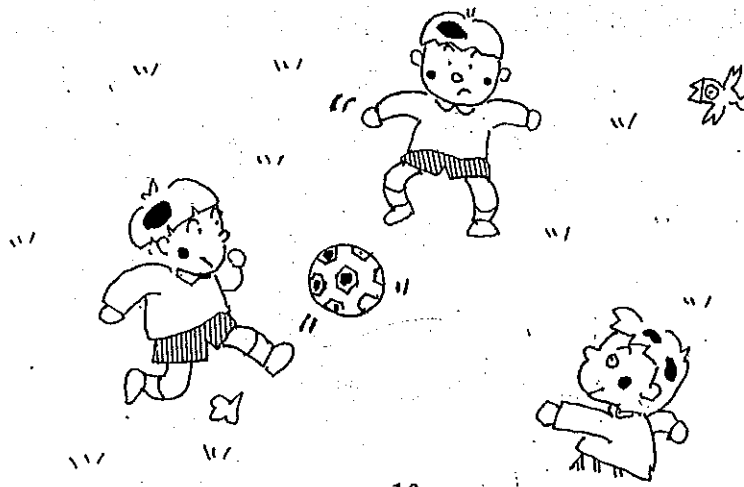
ためにも、約束まもは守まもってね。

サッカー・ラグビー・スイミング・ピアノ・習字しゅうじ・塾じゅく

かよ
に通かよっている子こどもがいます。なにかしたいと思おもった

にい ねえ そうたん
ら、お兄にいさんやお姉ねえさんに相そうたん談たんしよう。ご家族かぞくとも相そうたん談たん

しながらすすめます。



しょうねん まち にい ねえ いがい ひと
「少年の町のお兄さんやお姉さん以外の人にきいても
らいたいことができたら、どうしたらいいの？」

そういうときも、きみのことをかんがえてくれる人はた
くさんいます。こども家庭センターのたんとうのしょくいん
にも
そうだん
相談できます。

こども家庭センターのたんとうのせんせいの名前は

こうべし こども家庭センター でんわ 078-382-2525
すこやかテレフォン0145 でんわ 078-382-0145
しょうねん まち こども家庭支援センター でんわ 078-751-0123

